

感染症救急搬送サーベイランスの概要について

事業の目的

都民の生命を脅かす健康危機

- 新興・再興感染症の流行
 - ・ 高病原性鳥インフルエンザの世界的な流行
 - ・ 新型インフルエンザ発生の脅威
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の世界的な流行

健康危機管理体制の強化の必要性

救急搬送サーベイランスの実施

福祉保健局、東京消防庁、医療機関、保健所が連携し、感染症危機管理の新たな仕組みを構築

救急搬送時における患者の症状等の情報を迅速に収集・解析することにより、異常な発生を探知

感染症法等に基づく迅速な対応

救急隊員、医療従事者の安全確保

- 都民への被害の広がりを最小限に抑える

東京2020大会を終えて

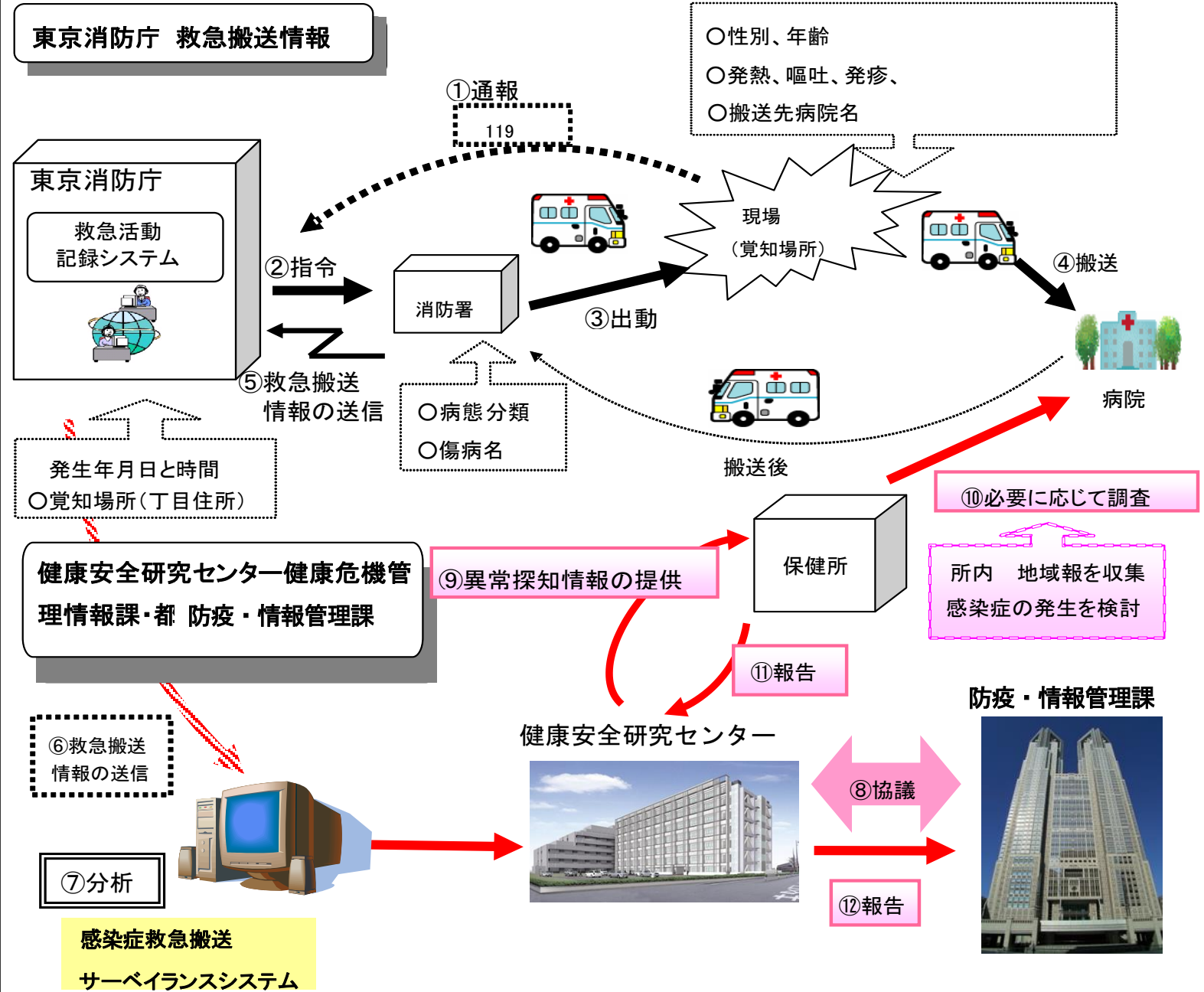
大会においては、感染症の持ち込みや急速な拡大が危惧されたため、大会においてサーベイランスのより一層の活用を図った。

事業実施方法

感染症救急搬送サーベイランスの仕組み（イメージ）

○東京消防庁と連携し、救急搬送情報を迅速に収集・解析 ⇒

新興感染症等の発生をいち早く探知



※ 赤色の網掛け部分は、システムにおいて異常探知後の対応

運用経過

